

2月22日 本会議 (一般質問) 「自然との共生」「山づくり」とは

私は選挙を通じて、我が国の伝統の中でも「自然との共生」が特に大切だと訴えました。議員になってからも、山仕事を体験しながら、「どうしたら命の源である山が元気になるのか?」と考えてきました。2月22日の本会議で、そうした想いを述べました。以下が、質問と答弁の概要です。

◆二ノ湯

広葉樹と針葉樹が調和している健康な山は、空気を綺麗にし、水を蓄え、土を豊かにしながら、土砂災害や洪水などを防いでくれる。しかし、戦後植林された杉や檜ばかりの人工林が、林業の低迷により放置され荒れ、土壌が流出し、保水力も弱くなる。CO₂の吸収もない。おまけに、広葉樹が落とす木の実は無いかから、動物が餌を求めて麓の畑を荒らす。緊急に山の整備が必要だ。

京都府では、「豊かな緑を守る条例」を制定し、府民参加で森林を守る「モデルフォレスト運動」(※1)を進めているが、専門技術が必要な整備は林業労働者に頼らざるを得ない。しかし、林業不振で山の仕事が減り、林業労働者は高齢化し減少しているが、環境保全のための森林整備は必要となるので、林業労働者は増やす必要がある。京都府はどのように林業労働者を確保していくのか?

林業労働者は国土保全の最前線で働く人々なのに、現在の日本では、就労環境や所得の不安定さなどで厳しい状況に置かれ、また、あまり注目もされていない。そこで、所得保障に加え、制服や表彰制度を作るなど、社会的な役割を評価する取り組みが必要と考えるがどうか?

◆山田知事

防災やCO₂吸収の点からも、森林は府民の財産であり、それを守る林業労働者の確保は不可欠だ。対策としては、平成9年に



労働者の育成・確保のために京都府林業労働支援センターを設立したり、平成14年からは緑の公共事業で雇用を創出したり、林業の振興も図っているが、現状は未だ厳しい。今後は、機械化や労働環境の改善による魅力ある職場作りで若者の就業促進を図り、森林組合の経営改善や緑の公共事業の更なる実施で担い手育成に努めたい。

また、「山の匠」(※2)「里山整備マイスター」(※3)などの認定制度をもっとPRするなど、社会的地位の向上も図りたい。

◆二ノ湯

林業労働者の確保を進める上でも、まず、「京都の山をどうするの?」その作業に何人くらい必要か」という基本計画が不可欠だ。京都府は、林業が可能な「木材生産型森林」と防災・環境を重視する「環境保全型森林」とに区分する方針を示しているが、一体どの地域が「木材生産型」あるいは「環境保全型」で、それぞれどの程度先を見通して整備をするのか?そうした具体的な計画を今後どう作っていくのか?

◆黄瀬農林水産部長

木材生産型森林は、機械化等で低コスト林業を実現し、間伐を70〜80年間繰返し、太い材を生産したい。環境保全型森林は、放置材を中心に強度の間伐を行って、針葉樹と広葉樹の混合林とし、里山はモデルフォレスト運動での整備を進めたい。各地域の自然・地形・歴史的な観点から森林を区分し、各地域の森林整備の計画策定には、専門家や府民の声も聞いていく。

◆二ノ湯

森林の恩恵は全府民が被っている。新たな財源が必要なら、新税で広く負担を求める必要もあると思う。(森林環境税は、2007年3月現在で、全国の23県で実施されており、平成20年度からは、さらに4県が実施予定です)

◆用語説明◆

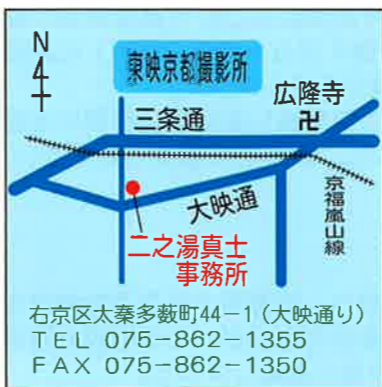
※1モデルフォレスト運動…一定面積の森林を単位として、その利害関係者の総参加のもとに行われる地域住民参加型の環境保全活動。カナダが発祥。※2山の匠…山村の生活に必要な、伝統的なあるいは極めて優れた技能を持つ人。京都府が指定し、その技術の保全と伝承を目指す。※3里山整備マイスター…どのように里山を整備・利用してきたかを、その技術や知識を通して伝えることができる人。京都府が指定。モデルフォレスト運動の指導者としても活躍。

事務所へお気軽においでください

皆様にとって、国と京都府・市町村の仕事の役割分担は分かっていくものです。「どこに相談に行けばいいの?」とお悩みになる前に、私の事務所を行政の総合窓口としてご利用下さい。地域やNPOなどの団体での取り組みや課題などについても、色々ご相談下さい。



事務所の職員 河村恵梨子 さんです。留守にすることが多い私に代わって、いつも事務所を守ってくれています。皆様には色々とお世話になります。どうぞ宜しくお願い致します。



右京区太秦多藪町44-1 (大映通り)
TEL 075-862-1355
FAX 075-862-1350

編集・発行
二之湯真士事務所
〒616-8167
京都市右京区太秦多藪町44-1
TEL : 075-862-1355
FAX : 075-862-1350
e-mail : ninoyushinji@palette.plala.or.jp

"しんじ"を信じる 京都府議会議員 二ノ湯真士 通信 創刊号

~今こそ、伝統が未来を拓く!~

皆様が幸せを予感できる 未来図を描き続けたい



桜の開花が待ち遠しい時期となりました。皆様にはお元気で過ごしていただくこととお慶び申し上げます。さて、昨年4月に皆様の力強いご支援により府議会にお送り頂いてから早1年が過ぎようとしています。この活動通信の創刊にあたり、まず以て改めて御礼を申し上げます。また、昨年は12年に一度、統一地方選挙と参議院議員選挙が重なる「選挙の年」でした。年が明けて2月にも、記憶に新しい京都市長選挙、八幡市長選挙が行われ、その度ごとに皆様には大変なご尽力を賜りました。重ねて御礼を申し上げます。

選挙が続く忙しい中、6月・9月・12月・2月と4回の定例会を経験しましたが、不慣れな私はその対応に追われていました。さらに私事ですが、6月下旬には晴れて結婚も致しました。昨年は公私ともにまさに激動の1年であり、常に「皆様にご報告をしなければ」と思いながらも、それが適わず今日に至った次第です。

今、国・地方を問わず、政治や行政に対する不信感が強まっています。京都府議会では昨年、政務調査費の「目的外支出」が問題となりました。監査結果の内容は、事務所の家賃や光熱水費、職員人件費など議員活動に不可欠な支出でも、全額

を政務調査費で充当してはならないという厳しいものでした。にもかかわらず、世間の府議会に対する視線は概ね冷たいものです。京都府政は、国政のように報道されることもなく、市町村行政ほど身近でもないのだ。府議会議員の活動はあまり理解されていません。「案を仕立てる」「公金で費沢をしていく」とお思いの方もいるでしょう。そうした理解不足や誤解の上に、マスコミによる興味本位の報道で事実が曲げて伝えられ、強い不信感が生まれたのだと思います。そうなるからと、ただけ弁明しようとも、理解を得るのは困難です。日常的な広報が大切なのです。

常に情報を発信していれば、より多くの皆さんと対話が生まれます。議員には、色々な方の立場を代弁する責任があるので、有権者お一人お一人と対話するのが理想ですが、現実には困難です。だから、色々な方々を思い浮かべながら常に問いかけなければいけないと思います。そうする中で少しずつ育まれる対話を通じて、様々な立場から物事を考えられる本当の意味での皆様の代表になっていくのだと思います。

今は、本当に大変な時代です。不安定で厳しい経済社会情勢、家族で殺し合うほどの心の荒廃、深刻な地球環境問題...この混迷の時代に、政治に求められるのは、「幸せな未来とそこへの道筋」を明確に示すことだと思います。目標が見えれば、今は苦しくとも頑張れるものです。私は選挙を通じて訴えた「今こそ、伝統が未来を拓く」という言葉を、この活動通信にも掲げました。戦後、先人の知恵の結晶である伝統をおろそかにし、今困っている。であれば、今それを取り戻すべきです。「自然との共生」「家族や地域での支え合い」「礼儀正しく親切な性質」などの伝統が再び息づく社会が我々の新たな目標になると、強く信じています。

この度の創刊を機に、常に初心を忘れずに、地域にあっては皆様の声に耳を傾け身近な諸課題の解決に尽力する、その一方で遠くを見つめつつ幸せを予感できる未来図を描き示し続ける、そのことをお誓い申し上げます。引き続きのご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

ビデオの貸出を致します!

◎TV文教常任委員会「京都府の大学改革」(KBS京都、1月20日放映)
◎2月定例会、本会議一般質問「京都府の山づくりについて」(2月22日)のビデオをお貸し致します。ご希望の方は、事務所までお問い合わせ下さい。なお、本会議一般質問の様子は、京都府議会のHPでもご覧いただけます。京都府議会ホームページ:
<http://www.pref.kyoto.jp/gikai/>



ホームページを開設しました!

URL : www.ninoyu.net

◆ブログなども活用し、この紙面ではご紹介しきれない日々の活動、私の素顔などもお伝えできればと思います。是非、ご覧下さい。

◆4月中旬に、携帯電話用のメールマガジンの配信も開始予定です。ご登録は、HPもしくは右のQRコードからお願いします。



<色々な形で活動をお伝えします。皆様からもご意見や感想をお願い致します。>

10月~11月

◆京都府南部の相楽郡精華町にある南山城養護学校を視察。障害者が自立して生きていくためには、幼少期から充実した教育が必要です。



ニノ湯さとし・しんじ君を励ます会

◆父さとしと私の合同励ます会。お陰様で盛会でした。改めて感謝申し上げます。

◆文教委員会で名古屋市発達障害者支援施設、東京都の有名進学校、千葉県の地域に開かれた塀の無い学校などを視察。(東京・上野の国際こども図書館)

◆旧京北町を通る丹波広域基幹林道を視察。林業のみならず、観光や環境学習への活用も望めます。

◆舞鶴港で化学物質が撒かれたと想定したテロ訓練を視察。京都市の消防車が発生から15分ほどで現場に到着!?



活動報告

この1年、お陰様で元気に活動して参りました。ほんの一部ですが、写真を添えてご紹介致します。

◆12月3日~18日、12月定例会。監査結果も踏まえ「政務調査費」に関する条例が、また来るべき公立大学法人化へ向けて「府立大学」に関する条例などが改正されました。

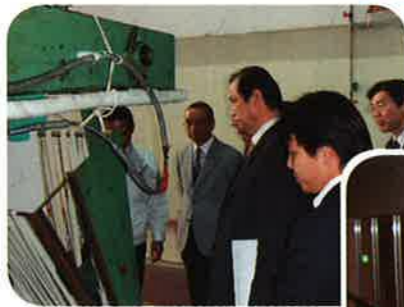
12月~1月

◆地方行政は、国からの補助金・交付金が十分ないと成り立ちません。12月21日、自民党府議団で東京に予算要望に行きました。

◆1月15日~16日、自民党府議団で京都府北部地域の農林漁業や工業の様子を視察しました。府内の均衡ある発展にはまだまだ課題があります。(京丹後市大宮町の丹後織物工業組合/写真左)

◆1月20日、KBS京都で「京都の大学改革」を議論した文教委員会が放映されました。(1面に写真を掲載)

◆特別委員会で「つまもの」ビジネスで成功する徳島県上勝村、「ゆず」産品が売れている高知県馬路村などを視察。過疎地域も光るものが一つあれば希望はある!(馬路村のゆず加工場/写真右)



2月~3月

◆京都市長選挙では門川大作候補を、八幡市長選挙では自民党府議団の先輩である明田功候補を応援しました。どちらの選挙でも、街宣車でマイクを握り、応援弁士も務めました。両者とも大接戦を制し、見事当選しました。

◆2月14日~3月21日、2月定例会並びに予算委員会が開催されました。「地域の絆を強くする=地域力再生」に重点を置いた、平成20年度の予算が成立しました。

◆2月22日の本会議で初めて質問致しました。傍聴にお越し頂き、有り難うございました。(詳細は4面をご覧ください)

◆御室学区にある府立聾学校へ、高等部の卒業予定者の作品展を見に行きました。卒業生の半分が、この学校で習得した技能を認められ、民間企業に就職しました。



6月~7月

◆6月19日~7月3日、6月定例会(本会議と常任・特別各委員会)。安心・安全で良好な河川環境を守るための「鴨川条例」などが制定されました。



◆「年金」「政治と金」の問題で、自民党惨敗の参議院議員選挙。西田昌司候補当選のため、舞鶴・丹後まで応援に行きました。(四条中学での個人演説会)

◆松竹撮影所を視察。太秦周辺が再び「日本のハリウッド」として活性化することが期待されます。

◆9月19日~10月5日、9月定例会。自転車による事故被害の軽減、交通マナーの向上のために「自転車の安全な利用の促進に関する条例」が制定されました。



◆京都の自民党青年局を代表し、香港・マカオ等を視察。中国経済の勢いを感じ、グローバル経済の今「世界の中の京都」を常に考えねばと痛感しました。(マカオで建設中のカジノ)



◆特別委員会で甲州ワインの工場(山梨県)、東京都大田区の町工場支援の施設などを視察。京都でも、各地のブランドを活かして地域の活性化が急務です。(ICタグ利用の研究を進める企業にて)

8月~9月



◆何事も経験と、高雄で林業体験。夏山で台杉の手入れをお手伝いしました。

4月~5月



◆初登庁。今後の議員生活に胸が膨らみます。5月21日~25日に、議長や委員会の委員長などを選出する5月臨時議会がありました。(議会棟前で)



◆皆様のお陰で12,453票を頂戴し、府議院に議席を賜りました。あの時の感動は今も鮮やかで、活動の原動力となっています。